

第4回札幌市生涯学習推進検討会議

日 時： 平成29年3月21日（火）

午前9時30分

会 場： 札幌市教育委員会

4階 教育委員会会議室

次 第

議 事

1 報告事項

第3次札幌市生涯学習推進構想について

2 意見交換

第3次札幌市生涯学習推進構想の実現に向けて

3 その他

資 料

・ 第3次札幌市生涯学習推進構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

(<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/gakushu/suishin/documents/koso3.pdf>)

・ 意見に基づく当初案からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

札幌市生涯学習推進検討会議 座席表

平成29年3月21日(火)

佐久間 章 三上 直之
(札幌国際大学 教授) (北海道大学 准教授)

◎ ◎

(議長) (副議長)

石井 知子 ◎
(公募委員)

◎ 佐々木 邦子
(北翔大学 教授)

報道席

臼井 栄三 ◎
(北海道教育大学 岩見沢校 特任教授)

◎ 竹川 勝雄
(公募委員)

喜多 洋子 ◎
(NPO法人子育て支援
ワーカーズ プチトマト)

◎ 三坂 桂子
(福住小学校地域連携協議会
コーディネーター)

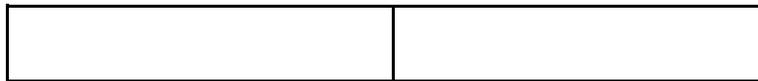
木村 佳子 ◎
(札幌市立あやめ野中学校 校長)



○
山根
生涯学習部長

○
大場
生涯学習推進課長

○
近藤
生涯学習係長



○
齋藤
社会教育主事

○
永山
社会教育主事

意見に基づく当初案からの変更点

<意見No. 1 関係>

施策の展開1 乳幼児期からの育ちを支える学びの充実 P24

乳幼児期は、基本的な生活習慣をはじめとした人間形成の基礎を培う非常に重要な時期です。そのため、乳幼児期の子どもと、子育て中の親を支える様々な学びを充実させることが必要です。

特に、乳幼児を育てる人々は、子育てに対する不安や悩みを抱えることが多い状況にありながら、周りに相談できずに、孤立しやすいという現状があります。親同士が交流する子育てサロン等での学びを通して、子育てへの自信や、対処能力を身に付けられるような学びの機会を充実させることが求められています。親としての成長一すなわち「親の育ち」を応援するため、子育てに関する学びの機会の他、子育て中の方が自分自身のために学べる機会の提供も含め、様々な学びを充実させます。

なお、社会全体で子育てを支える視点から、子育て中の親のみならず、広く市民を対象として子育て全般の理解を深めるための学びを充実させます。

事業の例

- 絵本の読み聞かせ事業などの、親子が触れ合う機会の提供
- 子育てボランティアの育成など、子育てを支援するための学びの充実
- 家庭教育学級などの、親同士が学び合う取組への支援

<意見No. 2 関係>

施策の展開21 時代の変化に対応した生涯学習関連施設の運営、機能強化 P35

市内にはコミュニティ施設や図書館をはじめとした地域における生涯学習を支援する施設の他に、特定のテーマ・分野を扱った青少年科学館、博物館活動センター、環境プラザ、円山動物園、札幌オリンピックミュージアムなど、多くの公共の生涯学習関連施設があります。

このような施設については、その専門性を生かし時代の変化に対応するため、事業の拡充や機能強化を検討します。

また、子どもから大人まで生涯にわたる学習を支える場である図書館は、市民が本を楽しめる場を提供するのみならず、レファレンスサービス機能を向上させ、利用者同士の情報交換の場としての活用を進めるなど、課題解決の支援や人と人とのつながりづくりを支援する機能をさらに強化していきます。

事業の例

- 札幌オリンピックミュージアムの、オリンピック・パラリンピック教育の拠点としての活用推進
- (仮称)札幌博物館の整備に向けた、展示内容や事業活動の展開・整備内容等を定めた諸計画の策定
- 図書・情報館の運営などによる、市民の課題解決に向けた学びの支援